

ワークショップ 4

大学空白地における域学連携と地域活性化

概要：

いま改めて「地方創生」がさげられる中、大学にはどのような役割が求められているのだろうか。京都府北部地域には大学のない自治体がいくつか存在するが、たとえば京丹後市では「夢まち創り大学事業」として、現地までの学生の送迎や宿泊などの形でフィールドワークの支援を行っている。2015年の事業開始以来、18大学1団体、のべ8千人以上が参加しており、商品開発や地元の祭の運営・参加、農業など活動内容も多岐にわたっている。

この分科会では、京都府北部地域等の「大学空白地」ともいえる大学のない／少ない地域において、大学がいかなる役割を果たすことができるのか、特に域学連携と地域活性化の観点から、京丹後市の「夢まち創り大学事業」に関わる方々と一緒に考えていく。

<プログラム>

- 14:00 趣旨説明 大谷大学社会学部 講師 野村 実
- 14:10 講演 1. 「京丹後市夢まち創り大学とは」
京丹後市市長公室政策企画課 主事 青木 滉人
- 14:25 講演 2. 「地域と大学の間立つジレンマ」
有限責任事業組合まちの人事企画室 CMO 井上 健吾
- 14:40 講演 3. 「『大学のないまち』と大学との連携の実際」
福知山公立大学地域経営学部 准教授 杉岡 秀紀
- 15:00 休憩
- 15:15 グループワーク①「地域連携の理想」
- 15:45 グループワーク②「地域連携の苦悩」
- 16:25 総括